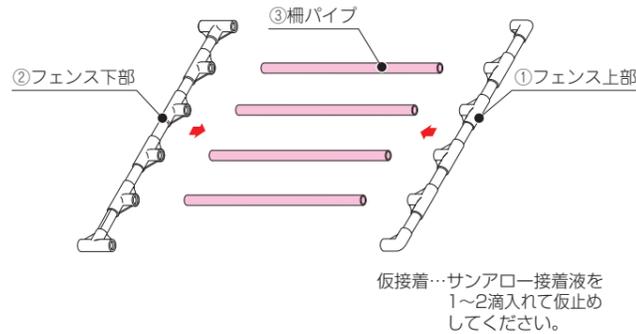
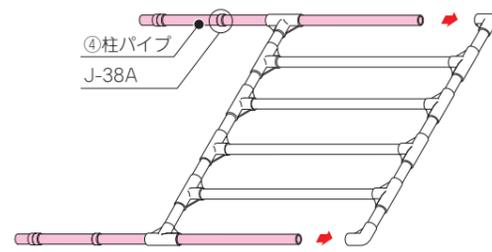


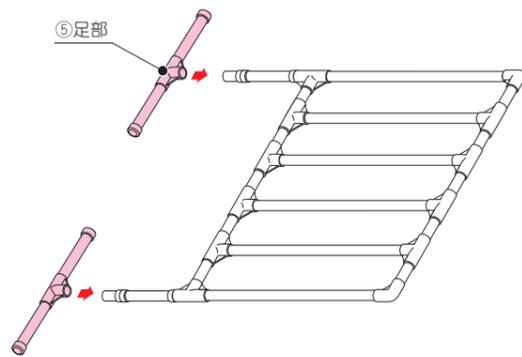
1 フェンス上部とフェンス下部を柵パイプ(4本)で連結し、仮接着します。



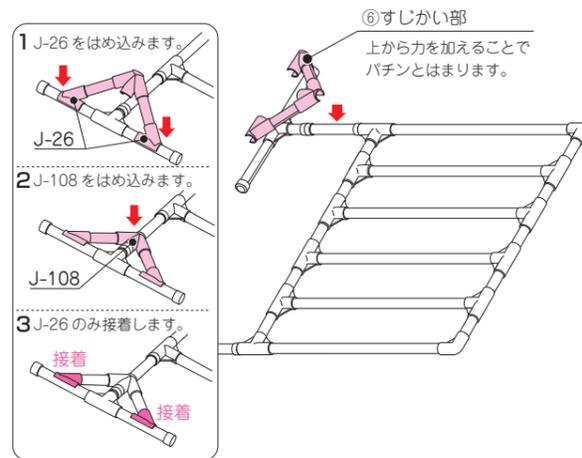
2 柱パイプをJ-38Aが当たる位置まで差し込み、仮接着します。



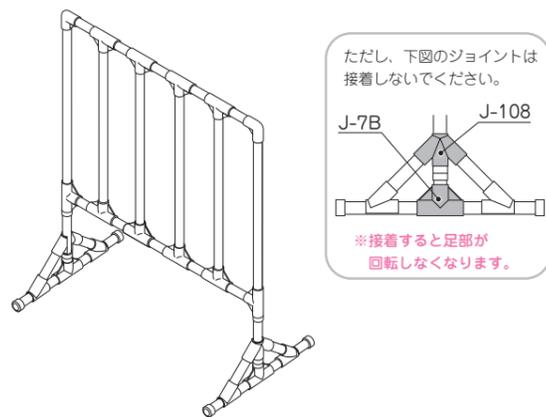
3 柱パイプに足部を取り付けます。(足部は回転式のため、接着しません)



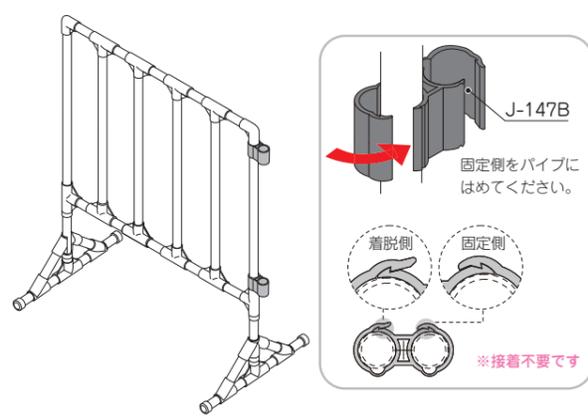
4 すじかい部を上からはめ込み、仮接着します。



5 ねじれや傾きがないことを確認して全てのジョイントを本接着します。



6 J-147B(2個)を取り付けて完成です。フェンス2台を連結することができます。



イレクター®フェンス

間口 奥行 高さ
サイズ (1台) 120×45×110cm
質量 (1台) 約5.6kg

イレクターは矢崎化工株式会社の登録商標です。



！安全に関する表示 ※いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

▲ 警告	誤った使用をされた場合、「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。	⊘ 禁止	してはいけない内容です。
▲ 注意	誤った使用をされた場合、「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。	！ 必ず守る	必ず守っていただく内容です。

使用上のご注意

▲ 警告

- **改造・加工は絶対に行わない。**
事故や破損の原因になります。
- **水平方向、垂直方向への力、および衝撃力を加えない。**
寄りかかったり、はしごのように登ったりすると、イレクターフェンスが倒れ、事故やケガ、イレクターフェンスの破損の原因になるおそれがあります。
- **人の転落防止用の防護柵、及び歩行補助手すりとして使用しない。**
事故やケガの原因になるおそれがあります。
- **子供を遊ばせるなど遊具として使用しない。**
- **フレームのすき間に手や脚を入れない。**
事故やケガの原因になるおそれがあります。
- **使用前に必ず点検する。**
亀裂、ゆがみ、または部品が脱落している場合は使用しないでください。
- **強風で倒れるおそれがあるので注意する。**
転倒して、事故やケガの原因になるおそれがあります。

⚠ 注意

! 必ず守る	●使用環境・使用状況によっては錆が発生するおそれがあるので注意する。 塩害地では腐食の可能性があります。真水で洗浄後、乾燥させて保管してください。
	●直射日光の当たる場所や炎天下で長期間使用の際には、変形・変質・軟化する場合があるので注意する。
	●製品に異常を見つけた場合は使用を中止する。 正しく設置できない場合や機能を損なう状態の場合は直ちにご使用を中止し、お客さま相談室までご連絡ください。
	●移動させる場合は、持ち上げて移動させる。 引きずりますとプラスチック部分が擦り減り、金属部が露出して腐食する原因になります。
	●イレクターフェンスが濡れた場合は水分をふき取って使用する。 水に濡れる場所で長期間使用されますとサビが発生する原因になります。
●使用温度範囲(-10℃~50℃)を超える場所では使用しない。 イレクターの使用温度範囲は、-10℃~50℃です。その範囲をこえる所や火のそばで使用しないでください。	

設置上のご注意

⚠ 警告

⊘ 禁止	●弊社製品と他社製品を組み合わせない。 破損やケガの原因になります。また、他社製品と組み合わせた製作物の安全は保証できません。
	●火気のそばに設置しない。 変質・軟化・変形または破損するおそれがあります。
! 必ず守る	●イレクターフェンスに荷重が掛かると想定される場所への設置はしない。 製品の強度が低下し、事故やケガの原因になるおそれがあります。
	●本製品を設置・移動させる際には、手を挟まないように注意する。
	●イレクターフェンスを複数枚持ち運びする際には、重量がかさむため、取扱いに注意する。 ケガや事故の原因になります。

⚠ 注意

⊘ 禁止	●過度な衝撃を加えない。 硬い床、コンクリート面などに落下させたり、過度な衝撃を加えると破損します。
	●水中に設置しない。 本製品は水中ではご使用できません。
! 必ず守る	●平らな場所に設置する。 階段の上など不安定な面に設置すると、ガタつきが発生し、事故やケガの原因になります。
	●足部を回転させる場合は、フェンスを持ち上げて足部を回転させる。 固定された足部品を、無理に回転させると破損するおそれがあります。
	●イレクターフェンスが自立できるように、使用環境に合わせて足部の角度を調整して設置する。 足部の角度を調整しないと、転倒してケガ、事故の原因になります。
	●できるだけ連結して設置する。 連結することにより安定性が向上します。

保管上のご注意

- 室内常温で保管する。
- 濡れた場合は、水分を拭き取り、乾燥させてから保管する。

お手入れ方法

1. 日常のお手入れ

- 水または中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭いてください。
- シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。

2. 点検

- 定期的に点検を行い、部品の破損や亀裂、ゆがみ、その他異常がないことを確認してください。
- 破損時のメンテナンスに関しましては、お客さま相談室までご連絡ください。

組立方法

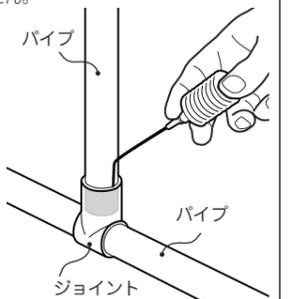
組み立て前に、下記「組み立て作業上のご注意」をよくお読みください。
また、「部品の確認」をご覧ください、部品がそろっていることを確認の上、組み立ててください。

組み立て作業上のご注意

⚠ 警告	●接着作業は室内で行わないでください。 接着液は、パイプとジョイントを接着するために有機溶剤を使用しています。換気の悪い室内で接着作業を行いますと、気分が悪くなり有機溶剤中毒となるおそれがありますので、接着作業は室内で行わないでください。やむをえず室内で作業をする場合は、十分な換気を行い、臭いがない状態を継続し安全であることを確認しながら作業をしてください。
	●接着を忘れないでください。 パイプとジョイントの連結部分は、必ず接着してください。使用時には必ず破損するおそれがあります。製作物のご使用前には、全て接着されているかを確認してからご使用ください。
	●「イレクター専用サンアロー接着液」は、引火性がありますので火気のあるところでは使用しないでください。

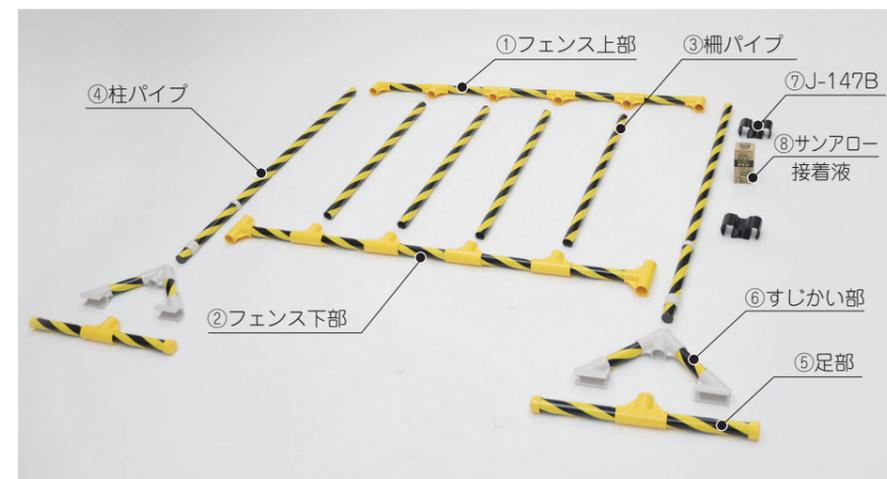
⚠ 注意	●パイプの切り口に触れないでください。 切断したパイプ切り口の内側は、バリが出て刃物のようになっていますので、パイプの切り口に指を入れたり、手のひらで押しつけてパイプや手を回転させないでください。切傷を負うおそれがあります。
------	---

! 必ず守る	●組立前には、パイプとジョイントをきれいにふいてください。 接着強度を得るため、接着部のほこり・水・油などの汚れをふき取ってから組み立ててください。
	●パイプとジョイントはしっかり連結してください。 設計した寸法通りに組み立てるため、パイプはジョイントの奥までしっかりはめ込み、ねじれや傾きがないように連結してください。
	●接着は、必ず「イレクター専用サンアロー接着液」を使用してください。 サンアロー接着液以外の接着液・接着剤は使用できません。他の接着液を使用して組み立てた場合の強度は保証できません。
	●接着液は、ていねいに注入してください。 接着強度を得るため、接着液は、接着面に均一に注入し、あふれないように注意してください。接着液があふれた場合は、他との接触に注意し、ふき取らずに自然乾燥させてください。
	●接着後は、はずれません。よく確認してから接着してください。 接着液は乾燥するとはずれません(剥離剤等もありません)ので、ジョイントの向きをよく確認してから接着を行ってください。
	●ジョイント1ヶ所当たりの接着液量は、約0.7mlを目安として考えてください。 ジョイントの種類によって異なりますが、1ヶ所当たりの接着液量は、約0.7mlを目安として考えてください。スポイト半分の量で約12ヶ所接着できます。
	●注入直後は、動かさないようにしてください。 接着液は、速乾性ですが、注入直後はパイプが抜けたり、全体がぬしれる場合がありますので、15分は動かさないでください。製作物は接着後24時間経過以降に使用してください。



部品の確認

※下記の部品がそろっていることを確認してください



	部品	数量
①	フェンス上部	1本
②	フェンス下部	1本
③	柵パイプ	4本
④	柱パイプ	2本
⑤	足部	2個
⑥	すじかい部	2個
⑦	連結用ジョイント J-147B	2個
⑧	サンアロー接着液 (30ml)	1個